

お出かけついでに人助け

～交通手段の確保に向けて～



須崎市環境未来課 松本 太洋

①須崎市の問題： 交通手段がなく困っている人がいる

市民アンケート調査（令和3年8月実施）によると、

- ・運転免許を保有している方（906人）のうち、「運転に苦痛・不安を感じ始めており、できれば控えたいが他に変わる手段がないため運転を続けている」と回答した人が**8.6%**
- ・回答者（1222人）のうち、「外出時に交通手段がなく困ることがある」と回答した人が**6.0%**
- ・交通手段に困っている人は、交通不便地区（公共交通空白地）に多い。

②深刻性(1)

交通手段の確保が進まないと...

- ・交通事故のリスクが高い高齢者が増加する
- ⇒75歳を過ぎると事故のリスクが上がる
- ⇒安心して生活できない人が出てくる

②深刻性(2)

・マイカーを持たない高齢者の外出機会の減少

- ⇒交通手段がないことを理由に外出を控えている高齢者が多い
- ⇒外出頻度が少ない人は健康状態が良くない割合が高い
- ⇒外出機会の減少により、健康状態の悪化に繋がる

③政策提案

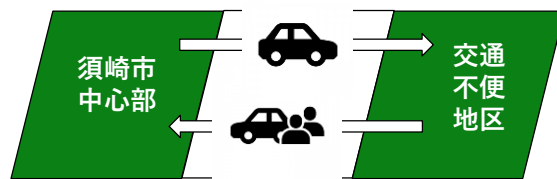
マイカー乗り合い交通サービス

住民のマイカーでの移動を活用した、住民同士の助け合いから生まれる公共交通サービス

(1)移動したい住民と、自分のお出かけついでに誰かを乗っけることができる住民ドライバーをマッチング



(2)自宅と須崎市中心部を行き来する住民のマイカーに乗車して移動



サービスのポイント

- ・道路運送法が定める「事業者協力型自家用有償旅客運送」に基づき運用
- ・須崎市から交通事業者に運行管理を委託
- ・ドライバーは助け合いの精神のもとに、ついでに送迎
- ・各地区と中心市街地間の利用に限定

サービスの安全性

- ・ドライバーに安全講習を実施
- ・安全な車両のみを使用
- ・運行前にドライバー点呼を実施
- ・事故に備えた保険を完備

利用方法（利用者）

- (1) LINEまたは電話で会員登録
- (2) 担当課窓口で回数券を購入
- (3) LINEまたは電話で乗車予約
- (4) 乗車し回数券で支払い

利用方法（ドライバー）

- (1) 担当課窓口にて手続き
- (2) 安全講習を受講し保険に加入
- (3) ドライバー専用アプリに登録
- (4) お出かけ予定を登録
- (5) お出かけついでに利用者を送迎
- (6) 回数券が貯まったら商品券と交換

④予算

- ・システム利用費 : 10～30万円/月
- ・運用設定サポート費 : 10～20万円
- ・システム初期導入費 : 50～200万円
- ・システム初期設定費 : 100～200万円
- ・その他諸経費

年間約1,000万円

⑤効果

- ・「運転に苦痛・不安を感じ始めており、できれば控えたいが他に変わる手段がないため運転を続けている」と回答した人の割合：**8.6% (R3) →3.0% (R8)**
- ・「外出時に交通手段がなく困ることがある」と回答した人の割合：**6.0% (R3) →2.0% (R8)**

⑥ビジョン

助け合いで、より安心、より元気に暮らせるまちづくりを実現！

